

「高速道路を中心とした『道路を賢く使う取組』の基本方針」に関する意見

(一社)日本自動車会議所 道路・環境委員会

私たちは、自動車の生産、販売、リース、整備、運輸等の自動車関係団体で、自動車関連業界発展のために尽力しております。また、道路整備、税制、交通安全、環境問題など、業界共通の課題解決について積極的に取り組んでおります。

今般、国土交通省道路局より提示された表題の件について、自工会、全ト協と同様に以下の通り意見を申し述べます。

1. 総論

本基本方針については、主要幹線ネットワークについて優先順位を明確にした上でのミッシングリンクの解消、暫定2車線区間の本来の機能確保のための工夫など、全体として賛成するものであるが、特に下記項目について慎重な検討をお願いしたい。

2. 意見(基本方針の意見該当頁及び行)

①【(4)新たな料金システムの構築—1)ETCの普及促進・義務化について】

ETC2.0の普及に当たっては、サービス内容や車載システムのあり方等、普及に向けた課題や必要な支援について官民で議論を深めて頂きたい。

(P15 6-21)

②【3. その他—②一般道における大型車対距離課金の導入について】

上記提案については、唐突な印象が否めない。大型車は我が国の物流の根幹を支えており、物流効率化の観点からも大型車への課金は反対である。現在の自動車重量税における大型車への課税割合を鑑みても、新たな負担のおそれがあり、議論を慎重に行って頂きたい。

(P16 20-21)